

戦評用紙

大会名	令和元年度 第30回山形県高等学校バスケットボール選手権大会
-----	--------------------------------

日時	2019年10月27日 12:30 ~	区分	(一財)山形県バスケットボール協会
----	---------------------	----	-------------------

チームA				チームB
山形中央				山形市立商業
62	19	1Q	4	54
	7	2Q	19	
	14	3Q	13	
	22	4Q	18	
		延長		

【戦評】

白:山形中央(#4, 5, 6, 7, 9)、青:山形商業(#4, 6, 7, 8, 9)、ともにマンツーマンで始まる。両チームとも激しいディフェンスでシュートを許さない。先制白#6のゴール下シュート、続けて白#6のバスケットカウントで得点を重ねる。その後も山形中央のシュートが決まり、6分10-0で、山形商業1回目のタイムアウト。タイムアウト後#10がレイアップシュートを決め、プレーに勢いがでる。しかし、山形中央の激しいディフェンスにより得点差は縮まらず、19-4で1Q終了。

青#8、#6が積極的にドライブし、ファウルをもらい得点する。負けじと白#4も3Pを決める。山形商業が勢いによってきたとき、山形中央前半1回目のタイムアウト。しかし、タイムアウト後も山形商業の勢いは止まらない。山形商業点差を縮め26-23で前半を終える。

3Q先制は白#6のゴール下シュート。その後、青#8の3Pが決まり、山形中央に喰らいつく。山形商業、果敢にドライブしファウルをもらい得点していく。山形中央もミドルシュートやゴール下で攻め、両チームとも得点を取られたら取り返す。3Q残り1分38-34、山形中央後半1回目のタイムアウト。タイムアウト後、山形商業はオールコート1-2-2からハーフマンツーマンで山形中央を混乱させ、40-36で3Qを終える。

山形中央アンスポーツマンライクファウルを取られるが、山形商業は得点に結びつけられない。白#4の3Pが決まり、45-36、山形商業たまたまタイムアウト。山形中央合わせのシュートを決め38-49で山形商業2回目のタイムアウト。山形商業、最後まで諦めずに食らいつくが、62-54で山形中央が勝利した。

戦評者

梅本 真帆